

令和6年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修 ※対面(集合型)

| | | | | | |
|---------------------------------------|--|--|-------|----------------|--------|
| 研修名 | 多様性と共に生きる学校について考える | | | | |
| 資質向上に関する指標（文科省） | 教職に必要な素養 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応 | プログラム指標（しまだい） | 子ども支援 | | |
| キャリアステージ | 自立・向上期（1～10年目） | ○ | 研修レベル | 基礎（学部1・2年レベル） | |
| | 探究・発展期（10～20年目） | ○ | | 応用（学部3・4年レベル） | |
| | 充実・円熟期（20年目以降） | ○ | | 発展（大学院レベル） | ○ |
| 開設日 | 令和6年7月25日（木） | | 時間数 | 6時間 | 定員 25名 |
| 会場 | 山陰教員研修センター （島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程に併設） | | 所在地 | 島根県松江市大輪町416-4 | |
| 授業形態 | 演習、講義 | | 対象校種 | 全校種 | |
| | | | 対象教科 | 全教科 | |
| 実施方法 | 対面（集合型） | | 対象職種 | 広く学校教育関係者 | |
| 担当講師 | 津多 成輔（島根大学教育学部 講師） 齋藤 英明（元島根大学教職大学院 教授） | | | | |
| 研修内容 | 学校では、発達上の特性、障がい、ジェンダー・性自認、外国にルーツのある人々の増加による文化間の相違等、配慮すべき要素が増加・多様化している。本研修では、こうした学校をめぐる多様化に通底する「共生」についての理解を主体的・対話的な学びによって深める。具体的には、「共生」に関する基本的な事項を概説した上で、書籍（『共生と希望の教育学』筑波大学出版会）の講読した上で、討議を行う中で学校のあり方を考える。 | | | | |
| 日程 ※研修の進み具合によっては、予定時間を変更することがあります。 | 時間 | 内容 ※研修中は適宜休憩をとります。 | | | |
| | 8:40～9:00 | 受付 | | | |
| | 9:00～9:10 | オリエンテーション | | | |
| | 9:10～10:30 | 「共生」の理論 | | | |
| | 10:30～12:00 | 『共生と希望の教育学』を読む | | | |
| | 13:00～15:20 | 「共生」について考える | | | |
| | 15:20～16:00 | 学校教育における「共生」の可能性 | | | |
| | 16:00～16:15 | 「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時 | | | |
| 研修に関して各自準備するもの | 特になし | | | | |
| 事前課題 | 特になし | | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 募集要項に記載の携行品等をご持参ください。 本研修は、受講者と講師あるいは受講者間の対話を中心に進めます。 講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。 stsuda@edu.shimane-u.ac.jp まで、ご連絡ください。 当日の駐車場は、附属義務教育学校前期課程校庭です。南側入口からお入りください。 | | | | |